

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回 福津市立図書館協議会	
開催日時	令和8年2月27日(金) 午後2時00分から 午後2時55分まで	
開催場所	福津市立図書館 研修室2	
委員名	(1) 出席委員 河井委員、田島委員、立石委員、立山委員、 山元委員、安河内委員、吉住委員 (2) 欠席委員 安徳委員、市川委員	
所管課職員職氏名	芹野(郷育推進課長)、長友(市立図書館長) 森(カメラアステージ図書館長)、田中(市立図書館サービス係長)	
会 議	議題(内容)	令和7年度福津市図書館の事業報告について 令和8年度福津市図書館運営方針(案)及び事業計画(案)について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0名
	資料の名称	①会議次第 ②令和7年度第3回福津市立図書館協議会協議資料 (事業報告・運営方針・事業計画等)
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法 会議出席委員による確認  内容に相違ありません。 委員 <span style="float: right;">⑩</span>	
その他の必要事項		

協議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会のあいさつ
2. 会長あいさつ
3. 報告・協議事項

協議事項①「令和7年度福津市図書館の事業報告について」

（事務局） 資料「令和7年度第3回福津市立図書館協議会協議資料（事業報告・運営方針・事業計画等）」に沿って概要説明。

（立山委員）カメラステージ図書館で実施している「お客様調査」とはどのようなものか。

（事務局） 対面式調査では、希望するイベント内容や具体的な利用内容等について、30人を対象に聞き取り調査を実施。配布式調査では館内の改善要望事項などを挙げている。1,000枚配布。

（河井会長）次回の報告で、調査用紙を見せてほしい。

（河井会長）図書館運営方針と事業報告がリンクしているのを分かりやすくするために、事業報告の事業項目ごとに運営方針の項目番号を記載しておく、運営方針に基づいた事業であることが明白となる。

協議事項②「令和8年度福津市図書館運営方針（案）及び事業計画（案）について」

（事務局） 資料「令和7年度第3回福津市立図書館協議会協議資料（事業報告・運営方針・事業計画等）」に沿って概要説明。

（立石委員）令和8年度は令和7年度と違って、市立図書館開催の読み聞かせ講座とカメラステージ図書館開催の読書ボランティア育成講座が同じ月に行われる計画になっている。対象者が重なると思われるので、できれば違う月に実施してもらいたい。

（事務局） 日程が重ならないように、両館で調整したい。

（田島委員）令和8年度の事業計画の中で、新規事業はあるのか。

（事務局） 市立図書館の事業計画において新規事業は挙げていないが、年度

途中で委員の意見や市民の意見があれば、日程や予算上可能な範囲で新規事業を行う場合はある。カメラステージ図書館では、例えば「異世代交流イベント」のように、毎年内容を変えて実施するものもある。

(山元委員) 令和7年度と令和8年度の運営方針の違いは何か

(事務局) 表現の仕方をより分かりやすく変えただけで、新たに運営方針の具体的な項目を追加したわけではない。

(河井会長) 令和8年度の事業計画についても令和7年度と同様に、運営方針と事業計画の各項目がリンクするような表現方法をしたほうが分かりやすい。

(安河内委員) 小学校の図書館見学が行われるが、図書館として単に受け入れるだけではなく、図書館と学校がつながる仕組みづくりを考えていきたいと感じた。子どもたちにとって、見学を機に、また図書館に行きたくなるような工夫が必要だ。例えば、見学後にまとめた表現物を図書館に掲示したら、親子で図書館に行く機会も増えると思う。また、本を読むだけでなく、読書にまつわるボードゲームを活用するなどして来館者を増やす試みもあっていいのではないか。あるいは、図書館に行くのが困難な人もいると思うので、郷づくりや地域の公民館等に『出前図書館』みたいなシステムもおもしろいと思う。イベントをするにもそれだけで終わらせるのではなく、次につながるように考えていくことが大切だと思う。

(河井会長) 図書館と学校がつながる仕組みづくりが必要だ。子どもたちにとって、図書館が親しみのある日常的な場所となるように取り組んでほしい。

(山元委員) 事業計画に、事業内容に加えて目的を書いておくとアイデアが生まれやすくなるかもしれない。

(吉住委員) 中学生の場合、職場体験の内容は学校内では共有されるが、さらに図書館に貢献できたらいいなと考えている。中学生のボランティア活動の一環で、保育園で読み聞かせを行ったり、小学校との交流の中で本の紹介をしたりしている。まつりやイベント等でも活動ブースを設ければ、中学生が参加する機会が増えるのではないか。一市民として地域の貢献力を育成するのも中学校の使命である。一方で、公共図書館の

使命として「新しい交流や文化の創造に貢献する」とあるが、昨年同様の事業計画だと新しい交流ができにくいのではないか。人が変わることなのか、交流の仕方が変わる事なのか、何か明確な方策を打ち出す必要があると思う。

(河井会長) 学校と図書館との話し合いや連携が不十分なのだと思う。司書レベルだけでなく、さらに一步踏み込んで組織全体で集まることが必要だ。

(山元委員) 職場体験で訪れた生徒が、今度は仕事のお手伝いをして、さらに司書を目指していくという事例もある。

(河井会長) やれることはたくさんありそうだ。まずは仕組みづくりから取り組んでほしい。

(河井会長) 令和8年度図書館運営方針及び事業計画(案)について、承認することによいか。

(出席委員) 異議なし

(河井会長) 委員の皆さんの意見を反映しながら対応していただきたい。

#### 4. 次回の日程について

(事務局) 次回は7月以降を予定している。

以上